

練稲Press

No.009

第13回「ニューイヤーコンサート」間近に迫る！ ～大盛況と感動の予感～

新春を飾る恒例行事となった早稲田大学交響楽団（ワセオケ）によるニューイヤーコンサートが、いよいよ新年の1月19日（土）午後5時から練馬文化センター大ホールで開催されます。前回に続いて曾我大介氏指揮により第1部は高橋維、芹澤佳通、吉川健一（写真右）の豪華ソリストと共にヴェルディの歌劇「椿姫」（抜粋）が、第2部ではチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲、ヨハン・シュトラウスII世の「トリッチ・トラッチ・ポルカ」ほかの名曲が、新春らしく軽快に演奏される予定です。

ワセオケは今回の演奏会に備えて猛練習を積んできました。特に2～3月のヨーロッパ遠征の経験を経て一段と力量が上がったといわれ、その出来栄には各方面から大きな期待が寄せられているところから、今回は大成功を取めた前回は上回る盛況と感動の予感が濃厚です。

年明けには練馬文化センターの外壁に、ニュー

「七福神巡り」1月5日(土)に催行

七福神巡りは室町時代に風流人によって始められたといわれ、東京では江戸時代の文化文政の頃の谷中七福神巡りを嚆矢とするようです。七難を除き七福を与える神々を七草までに巡礼し、福運を祈る行事です。練馬稲門会では毎年の恒例行事として、これを実施してきました。来春は1月5日(土)に催行いたします。

具体的なことは近日中に歴史ウオーキング部からお知らせしますが、来るべき年の招福を願う方々はぜひ参加されたら如何でしょうか。日頃の運動不足解消にもなること請け合いです。



イヤーコンサートを告知する早稲田カラーの巨大懸垂幕も掲げられ、一気にムードが盛り上がります。皆様お誘いあわせの上、ご来場いただきますようお願いしております。

なお、チケット（指定:3,500円、自由:2,000円）は残席僅少となっておりますが、お問い合わせ、お申し込みは、練馬稲門会コンサート事務局：070-3526-4179 までお願いいたします。

2019「新春の集い」のご案内

日時：2月23日（土）18：00開場 18：30開会
場所：ココネリホール
会費：男性3,000円／女性2,000円
（お酒の持ち込み大歓迎！）
第1部：講談／神田陽子 師
（平成29年人科卒、元日本講談協会会長）
第2部：懇親会
【アトラクション】
ポップス・ジャズの素敵な曲を一緒に歌いましょう！
midnight cruise tack II with 友里倅子
ボーカル／友里倅子
ギター／菊地隆哉（昭和50年商卒）

（文：照山 忠利）

ワセダスポーツを楽しむ会 野球早慶戦観戦記

今年の秋季リーグ戦は早慶法の優勝争いとなった。早稲田は慶応に連勝することが絶対条件。10月27日の1回戦は朝方までの雨も上がり絶好の野球日和となった。先発のエース、主将の小島投手は制球が定まらず7回までに6四球の乱調。打線も慶応のエース高橋投手に沈黙、9回の1点のみで1-3で敗戦。これで早稲田優勝の目はなくなった。

翌28日の2回戦。慶応は一気に連勝を狙って攻めに出る。1-1の5回表、2番手の早川投手が2点を失い劣勢に。しかし6回裏に早稲田の打線が爆発し6安打、打者一巡の猛攻で一挙5点をあげ逆転。7回到1点を与えたところで、抑えの2人の長身今西投手が登板して後続を断ち、9回表の無死満塁の大ピンチも1点で凌ぎ、6-5で辛くも逃げ切り1勝1敗のタイとした。

続く29日の3回戦。慶応はこの試合に勝てば優勝とあって闘志満々。我々は残念ながらこの日、歴史ウォーキング/旅行部会合同の関西城巡りに参加して応援観戦は出来ず。大阪城から城崎温泉へのバスの中で、途中2-4でリードされていると聞き、心配しながらホテル到着。9回到5-4の逆転勝ちを収めて慶応の優勝を阻止



したとの報に接し、一同で喜びを分かち合った。

早慶戦に2勝1敗、勝率で法政に次ぐ2位となり秋季リーグを終えた。春に同率3位、秋に2位、来春こそ小宮山新監督の下で久しぶりの優勝を期待したいところである。

「ワセダスポーツを楽しむ会」もこのところ年々高齢化が進み、参加者の減少に悩んでいる。野球に限らずラグビー、駅伝、レガッタなどにぜひ会員の皆さんの積極参加を頂き、勝利の美酒を共にしたいと願っている。

(小島 忠夫)

旅行部&歴史ウォーキング部 関西名城の旅

旅行部と歴史ウォーキング部との合同企画「信長、秀吉ゆかりの城歩き」も今年で3回目だ。10月29日昼、新大阪駅に23人が勢ぞろい。早速、大坂城（誤植ではない）に向かう。大坂城は誰もが訪れたことのある城で面白くもなんともない、との声も聴く。しかしそれは誤解で、今回の主目的は「古今無双の城」といわれた大坂城を驚いてもらうことでもあった。徒歩で二の丸の水堀の周りを歩く。巨大な城壁が折り重なって見える（屏風折）。

この巨大城壁を見た参加者から感嘆の声が上がる。「まるでヨーロッパの巨大建築物みたい。」

普通の見学路には入っていないので、誰もが初めてだ。ここを皮切りに普段見られない箇所を徹底解説。私は日本人の築いた城の最高傑作は、この大坂城と信じて疑わない。念のため言っておくと、最高といっているのはコンクリート製の「大阪城天守閣」でない。

長駆バスは走り、日本海に面した城崎温泉でも特に名高い西村屋に横づけ。うまい料理とお酒を堪能。この温泉の名物外湯巡りを楽しんだ方も多かった。

二日目は皆さんのお目当て「天空の城」竹田城へ。このところブームが続くので新宿の様とのニュースの声もあったが、台風のため道が壊れ入城規制があり、意外



と人は少なく落ち着いて見学できた。この城には全く建物は残っていないが、そびえる石垣の美しさはやはり見るものを感動させる。特に登った日は天気が良く、青空にそびえる石垣は壮絶な美しさだった。

そのままバスは姫路城へ。姫路城天守も白壁が少し前に塗られ、輝くばかりの美しさ。ここも青空に映え、白鷺城の美称のまま厳然と建っている。一同呆然と天守を見ている。天守内では意外な箇所を解説。トレビアな秘密に皆さん驚くことしきり。

こうして名城の旅も終了。誰もケガがなく、天気に恵まれたのが本当に良かった。

(八巻 孝夫)

混迷する雄弁会と私

平野 和邦



今にして思うと、私の原点は今でもお元氣な小学校の恩師から推薦され、小学生の時、渋谷公会堂で鶴の恩返しの主役よりよいうを演じたことが始まりかもしれない。

でも、早稲田に入ると演劇部ではなく、伝統ある雄弁会の門をたたいた。人前で話し、社会を変えたい。そんな志があったものと思う。しかし学内では学園紛争、学外ではベトナム戦争、会の中は幹事長ポストを巡る権力闘争と、そんな志とは大きく違った。

それでも演練は一生懸命やった。甘泉園や屋上で応援部さながらに腰に手を当てワンプレーズずつ大声で雄弁会の会旨を発声する。今でもその会旨がスラスラ出てくる。「我が早稲田大学雄弁会は、経国済民の志を有する学生の集まりであって、大隈老侯建学の精神たる、学の自由と独立とを死守し、雄弁技術の演練と理論の究明と社会的実践とを通じて、発展してやまざる日本国家並びに社会の進運に寄与せんとするものである」

この会旨にある社会的実践で右派と左派が大きく分裂した。左派は弁論よりも行動を優先する。そして学生会館8号室の部室も次第にヘルメット学生に支配されていく。クラスの間が喫茶店や雀荘で青春を謳歌

しているのに、何でもこんな世界に入ったかと悶々とした日々を送った。

一方で学費稼ぎのためのバイトもよくやった。中でもビアガーデンのバイトは楽しかった。当時の屋上ビアガーデンはイベント競争が盛ん。新宿紀伊国屋の屋上ビアガーデンは色気のある女の子のショーも行われ、ジョッキを運びながら、楽屋での着替えを垣間見ると心弾ませたものである。

そして就職した先がキリンビール。政治の悶々とした世界にいたので、ビール文化を拡張、人々が楽しく笑顔で豊かに生活できる世の中を作りたいと面接官に訴えたことを覚えてる。

長いキリンでのサラリーマン生活はほぼ営業一筋。退職を機会に練馬に住居を構え、第二の人生を歩もうとした時に政治への思いが甦った。そして、雄弁会出身である後輩の菅原一秀代議士のお世話になり公設秘書として政治の世界を学ばせていただいた。現在はそんな経験を活かして若い政治家のお手伝いをしてる。若い連中にはいつも言っている。ビール会社であればビールという商品が最良の品質でなければ営業がいくら頑張ってもダメ。それと同じように私は営業マンであり宣伝マン。商品にあたる皆さんはどんどん勉強して自分を磨いて欲しい。そして絶えず謙虚に、弱者の声に耳を傾け、人間味のある思いやりのある政治家になつて欲しいと。

そんな若い連中と一緒に仕事をする私がいつも心掛けてるのは心身ともに健康であるということ。ジム通いを日課とし、稲門会のカラオケで声を鍛える。今後は読書会にも出て頭の方も鍛えていきたい。そして、こうしたいろいろな場を提供してくれる練馬稲門会は本当に有難い存在だ。

(S45 商卒)

引退の年によみがえる1000ハイ体験

橋口 奈保



のことを聞いていた私は、嬉々として参加を決めていました。

ただ、本庄から早稲田までの1000キロは生半可な気持ちでは乗り越えられません。気力、体力、根性はもちろん、先を見通す力や途中、飽きないように友人と過ごすトーク力(!)までもが求められるのです。

早稲田で学んだことは数多くありますが、社会に出て生きてくる重要な要素が、2日間に「これでもか」と凝縮されたイベントはほかにありません。

現在、気力体力根性、そして先を見通す力やトーク力が必要とされる仕事を目指し、挑戦していますが、その原点ともいえるのがあの1998年の「1000ハイ」ともいえるのです。

当時と同じようにちゃんとゴールしたく思っています!

そうそう安室奈美恵さんとのつながりですが、「1000ハイ」は仮装して参加するののひとつの醍醐味。当時の私は、結婚会見で話題になった安室ちゃんの黒ニットとパーバリーの超ミニスカートの仮装で参加していたのです。

少し気恥ずかしい若かりし思い出がよみがえる、安室奈美恵さん引退の年です。

(H12 文卒)

サークル活動でより楽しい練稲ライフを!!

2018年11月現在、20のサークルがそれぞれ活発な活動を行っています。お好きなサークルを探して、交友の輪をさらに広げてください。

●各サークル連絡表

2018年11月30日現在(事務局:作成)

サークル	部長	卒年	連絡先(Tel,Mail)	開催予定日
1 ゴルフ部会	栗原 英明	S40	3924-1119	年8回コンペ開催(日は未定、7、8、12、1、2月休会)
2 歴史ウォーキング部会	八巻 孝夫	S45	3997-5703	七福神巡り他、年6回程度(3月~5月、9月~11月)、夏冬休み
3 旅行部会	藤沢 礎	S49	3867-2210	年間3回程度
4 麻雀部会	喜々津和夫	S43	3991-7085	奇数月の最終土曜日、年2回早慶戦、年2回近隣会、年1回温泉泊
5 囲碁部会	築山 哲	S41	6760-9579	毎月第3土曜日、年1回湯ヶ原泊、春・秋豊島対抗戦
6 グルメ会	持ち回り		事務局 4243-2759	年2回程度
7 テニス部会(硬式)	菊田 勉	S44	3310-3900	毎月1回(日は未定)、夏合宿(軽井沢泊)
8 エッセイ同好会	照山 忠利	S45	5387-5176	偶数月(第3土曜日)
9 ワセダスポーツを楽しむ会	小島 忠夫	S41	090-4606-4552	箱根駅伝、野球早慶戦、早明ラグビー、早慶レガッタ
10 カラオケ部会	土屋 正孝	S45	3929-9227	毎月(第3月曜日)PM4:00~7:00、ジュニア部会年2,3回(土日)
11 山歩き会	石村 毅	S43	5241-1866	毎月1回・第1木曜日定例会
12 写真クラブ	岡田 吉郎	S35	090-5777-9215	毎月第3水曜日(2月、8月は休み)
13 パソコン教室	築山 哲	S41	6760-9579	毎週木曜日(PM1:30~3:00)
14 酒楽会	森 正治	S46	090-4361-6656	月末の最後の木曜日(年5回)PM5:00~7:00
15 釣り愛好会	松浦 康夫	S48	3904-2455	例会年4回(4、6、10、11月頃)、オフ会=随時
16 青年部会(参水会)	小野 惣一	S60	080-5385-5114	主要共通行事のない月の第3水曜日(年6回程度)
17 料理を楽しむ会	仲山 典美	S40	080-4357-8665	2、4、6、9、11月の第4月曜日
18 フォークソング愛好会	河野 省三	S41	6914-5016	毎月第1火曜日(PM1:00~3:00)
19 (未来塾)ほのぼの朗読教室	(講師) 小林 大輔	S40	事務局4243-2759 講師080-2064-3050	毎月第4金曜日
20 (未来塾)時代小説を読む会	(講師) 野火 迅	S56	事務局 4243-2759	年2、3回
* 切手同好会(仮称) 将棋部会(仮称)	未定		サークル推進チーム neritoucirclesuishin@gmail.com	未定

注1)「陶芸を楽しむ会」は、11月の活動をもって終了致しますので削除させていただいております。

注2) *印欄は現在会員募集中で5名以上集まった段階で公認サークルとして認定予定です。

注3) イベント募集案内、活動状況報告はHP (<http://nerima.waseda-info.com/>)、メルマガ、サークル通信をご覧ください。

ぜひご覧ください!! ホームページ

開設14年になるHP。ここには当会の最新の活動がすべて集約されています。
「練稲PRESS」と併せてご覧ください。

<http://nerima.waseda-info.com/>

編集・発行:広報チーム

照山 忠利 鈴木 奎三郎 岡田 吉郎 橋口 奈保

発行所:〒176-0014 練馬区豊玉南3-6-2 第2春日ビル2F 練馬稲門会事務局 TEL.03(3994)8212 FAX.03(3994)8219